

# まちの支えあい活動 「あいまち」

## H29年度アンケート調査 集計結果

### 概 要

調査対象：あいまち会員

調査期間：平成30年1月4日～1月19日

配布数：320票

回収数（率）：183票（57.2%）

調査方法：郵送にて配布・回収

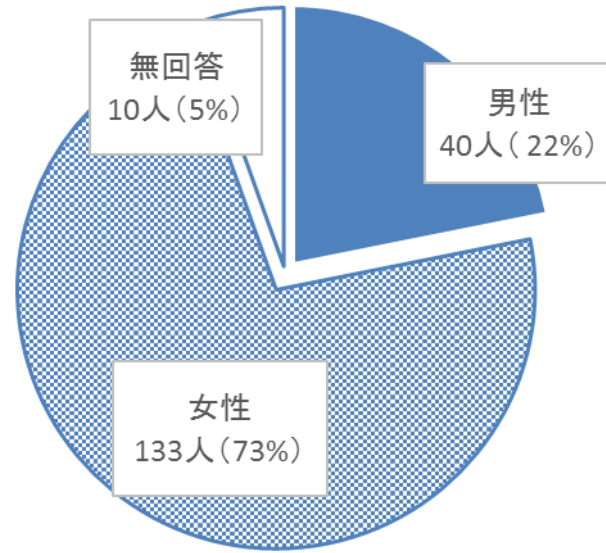
全ての回答の中から一部抜粋し、原文のまま記載しています。  
（※小数点は切り捨て）

まちの支えあい活動「あいまち」事務局

運営：社会福祉法人 大阪市鶴見区社会福祉協議会

## 【性 別】

総回答数	183
男性	40
女性	133
無回答	10

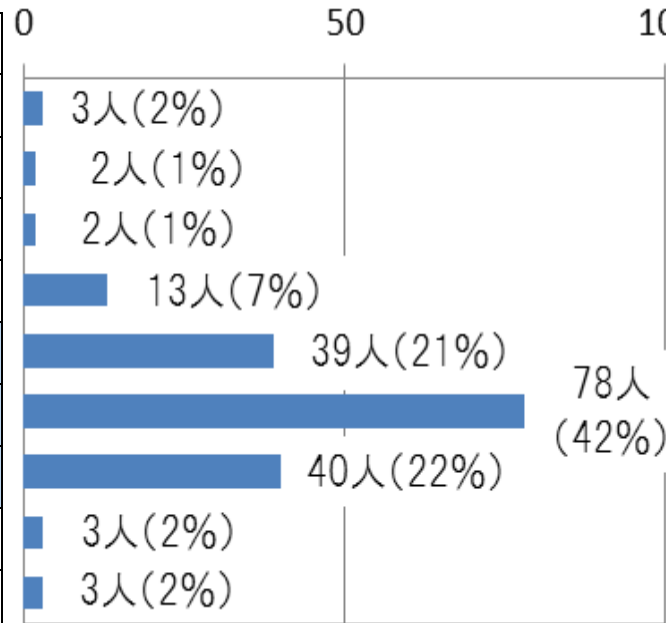


回答者の性別は、女性が73%・男性が22%・無回答5%で、女性と男性の割合が約7：3となっており、あいまち会員の内訳と近い数値になっています。

※あいまち会員の内訳<H30年3月31日時点>  
女性75.9%・男性24%で7：3の割合。

## 【年 齢】

総回答数	183
20代	3
30代	2
40代	2
50代	13
60代	39
70代	78
80代	40
90代	3
無回答	3



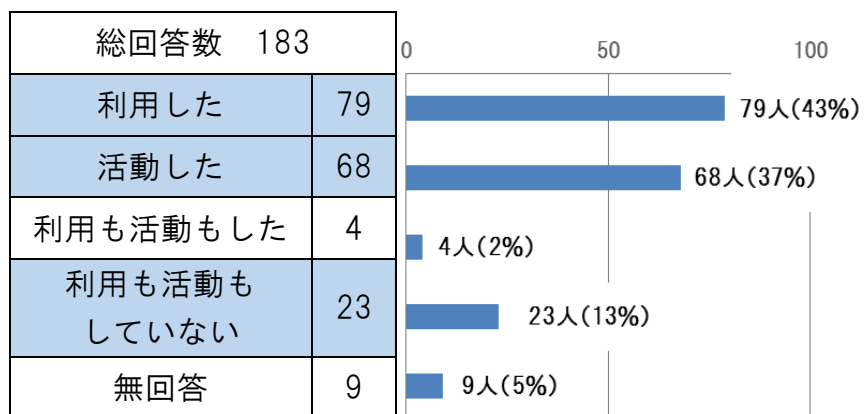
回答者の年齢は、70代が42%・80代が22%・60代が21%と、60～80代の年齢が8割を占めており、あいまち会員の内訳と近い数値になっています。

※あいまち会員の内訳<H30年3月31日時点>

20代	1.7%
30代	0.5%
40代	2.5%
50代	7.4%
60代	18%
70代	36.9%
80代	30.9%
90代	1.7%

**85.8%**

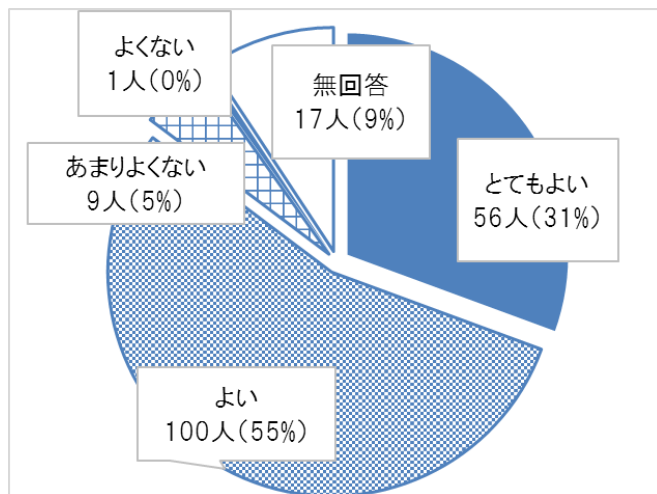
## 【今までの利用・活動の有無】



あいまちの今までの利用について「利用した」人が43%、「活動した」人が37%となっており、利用と活動のいずれかの人が8割を占めています。「利用も活動もした」人は2%、「利用も活動もしていない」人は13%となっています。

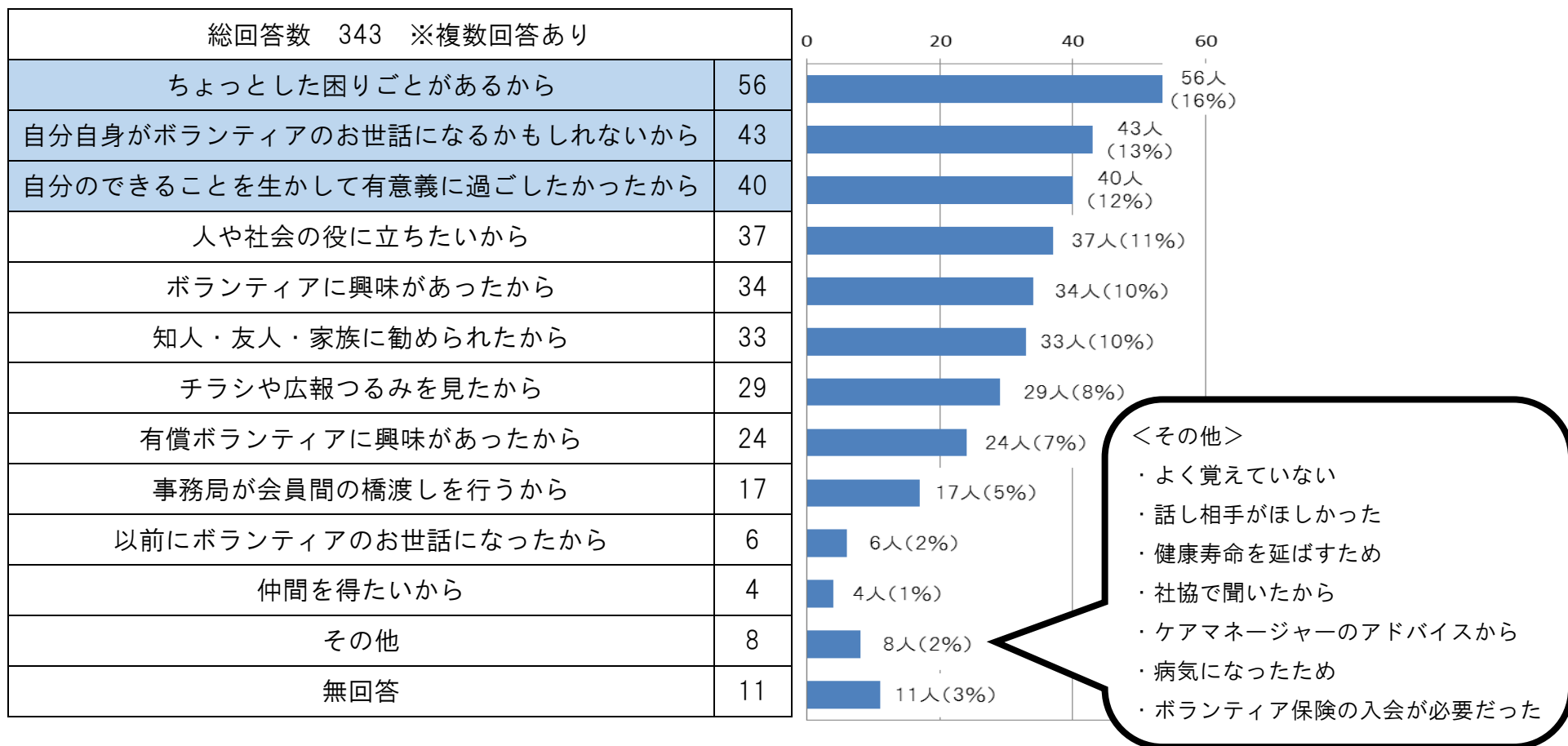
## 【満足度】

総回答数 183	
とてもよい	56
よい	100
あまりよくない	9
よくない	1
無回答	17



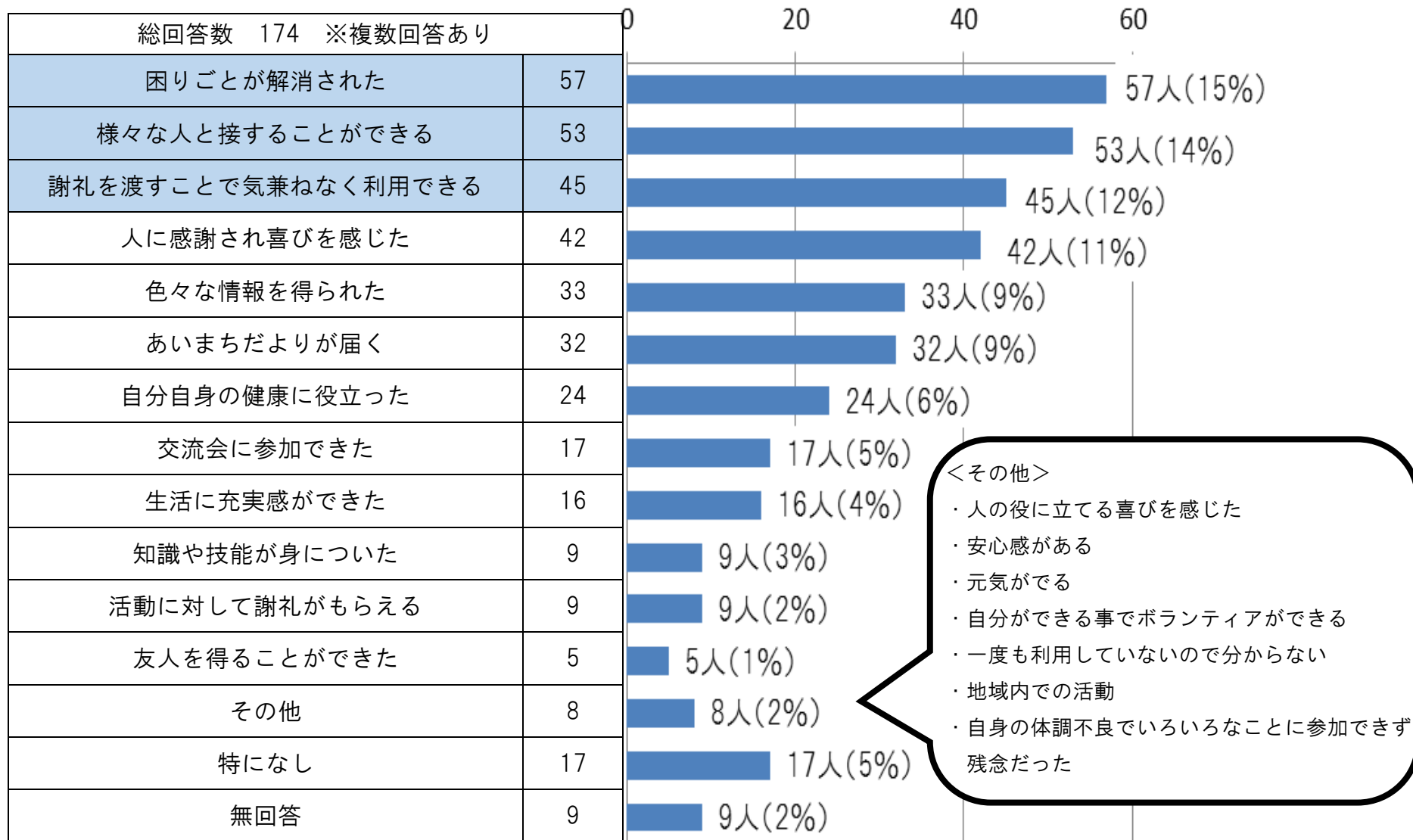
あいまちの満足度は、「よい」が55%、「とてもよい」31%で、満足度は8割以上となっています。

## 【登録したきっかけ】



あいちに登録したきっかけは「ちょっとした困りごとがあるから」(16%)、次に「自分自身がボランティアのお世話になるかもしれないから」(13%)、「自分のできることを生かして有意義に過ごしたいから」(12%)となっています。

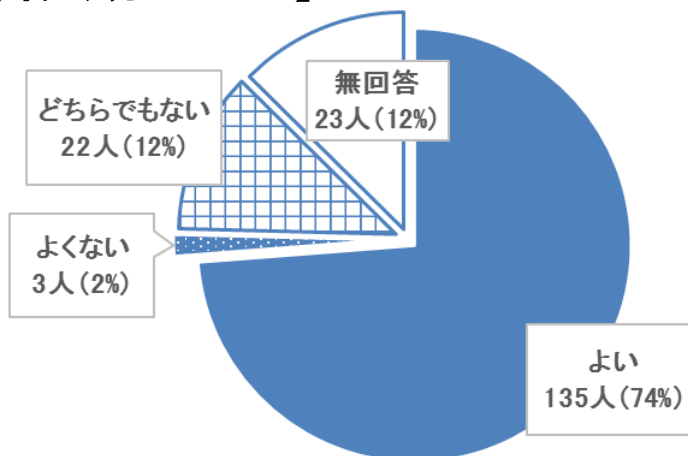
## 【あいまちの会員になってよかったこと】



あいまち会員になってよかったことは、「困りごとが解消された」(15%)、「様々な人と接することができる」(14%)、「謝礼を渡すことで気兼ねなく利用できる」(12%) %となっています。

### 【コーディネーターの関わり方について】

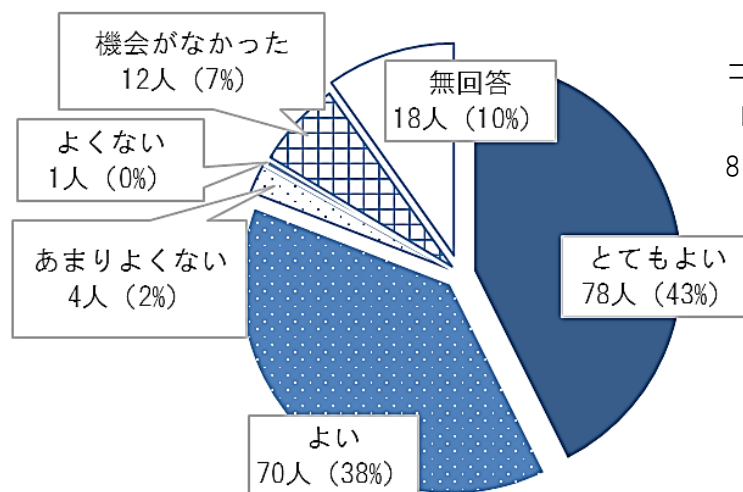
総回答数	183
よい	135
よくない	3
どちらでもない	22
無回答	23



コーディネーターとの関わりについて、「良い」と答えた人は7割以上を占めています。

### 【コーディネーターが会員間の橋渡しを行う】

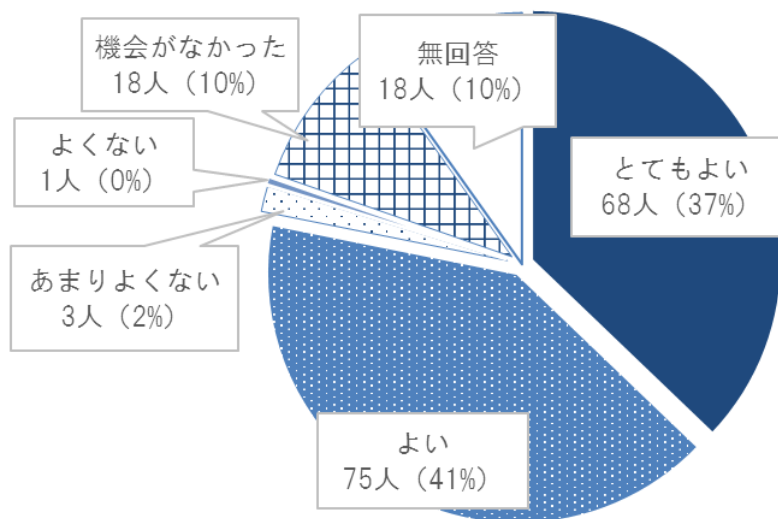
総回答数	183
とてもよい	78
よい	70
あまりよくない	4
よくない	1
機会がなかった	12
無回答	18



コーディネーターが会員間の橋渡しを行うことについて、「とてもよい」(43%)、「よい」(38%)であり、満足度は8割以上となっています。

### 【コーディネーターが活動に同行する】

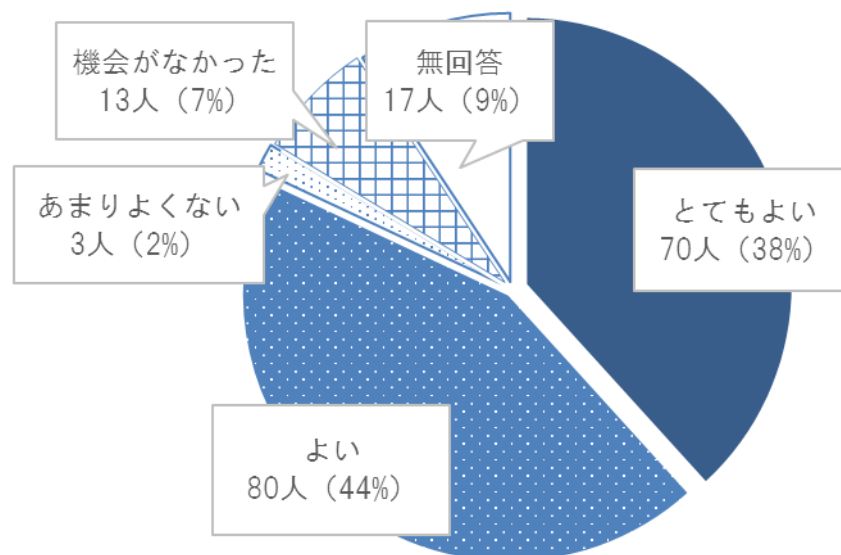
総回答数	183
とてもよい	68
よい	75
あまりよくない	3
よくない	1
機会がなかった	18
無回答	18



コーディネーターが活動に同行することについて、「よい」(41%)、「とてもよい」(37%)であり、満足度は7割以上となっています。

### 【コーディネーターが日程調整を行う】

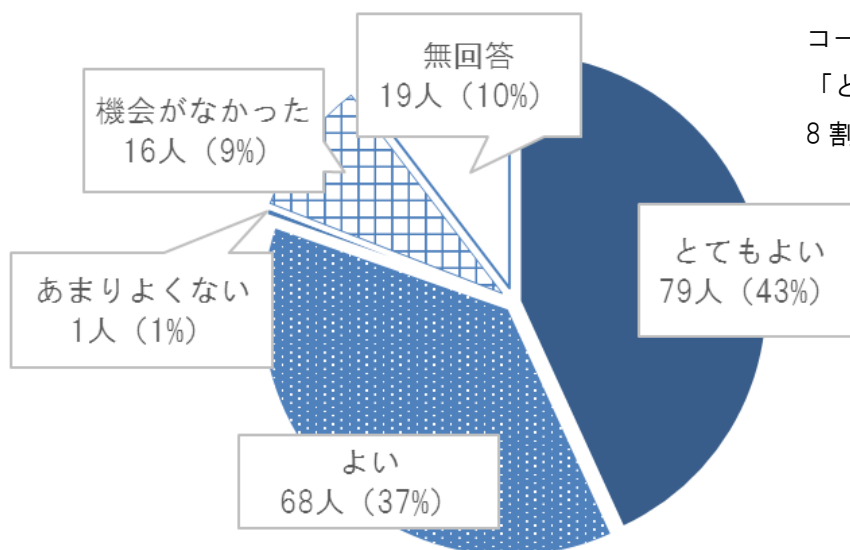
総回答数	183
とてもよい	70
よい	80
あまりよくない	3
よくない	0
機会がなかった	13
無回答	17



コーディネーターが日程を調整することについて、「よい」(44%)、「とてもよい」(38%)で、満足度は8割以上となっています。

### 【コーディネーターに気軽に相談できる】

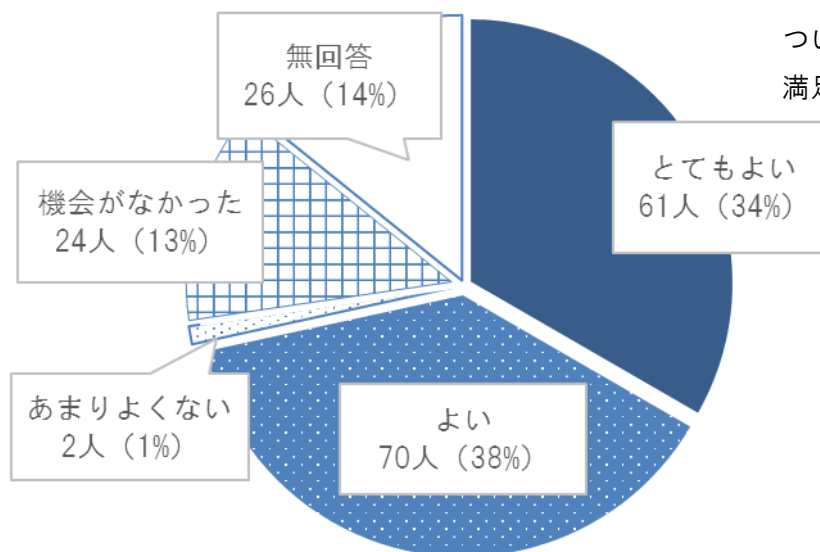
総回答数	183
とてもよい	79
よい	68
あまりよくない	1
よくない	0
機会がなかった	16
無回答	19



コーディネーターに気軽に相談ができることについて、「とてもよい」(43%)、「よい」(37%)で、満足度は8割近くとなっています。

### 【コーディネーターがいろいろな情報を提供する】

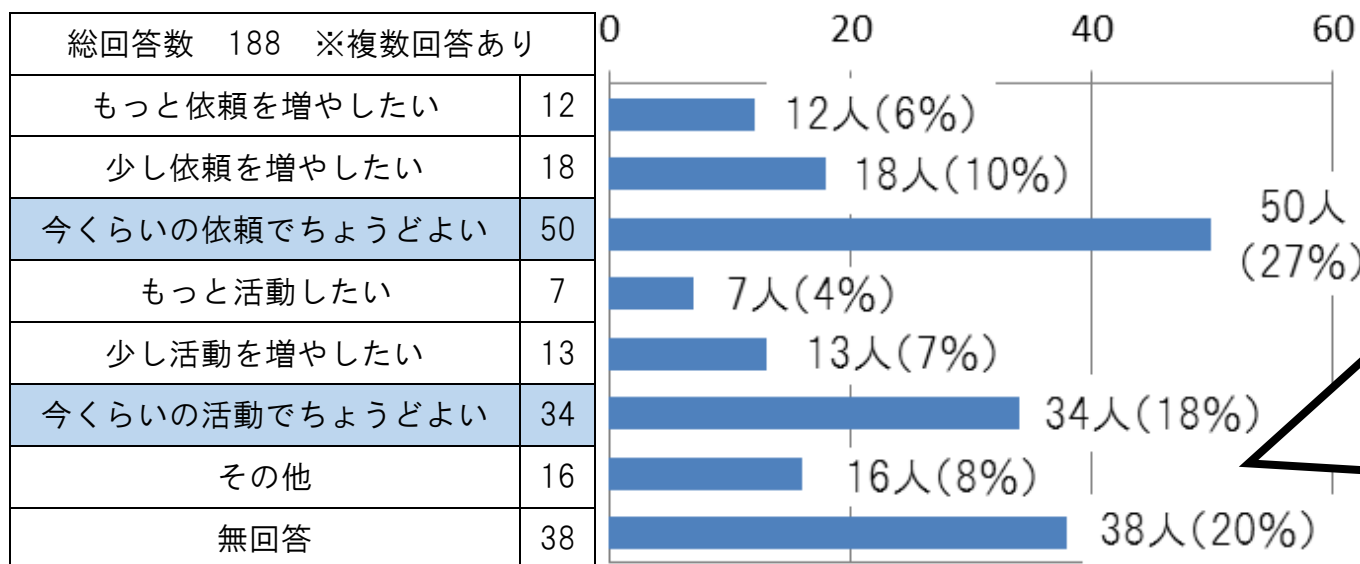
総回答数	183
とてもよい	61
よい	70
あまりよくない	2
よくない	0
機会がなかった	24
無回答	26



コーディネーターがいろいろな情報を提供することについて、「よい」(38%)、「とてもよい」(34%)で、満足度は7割以上となっています。



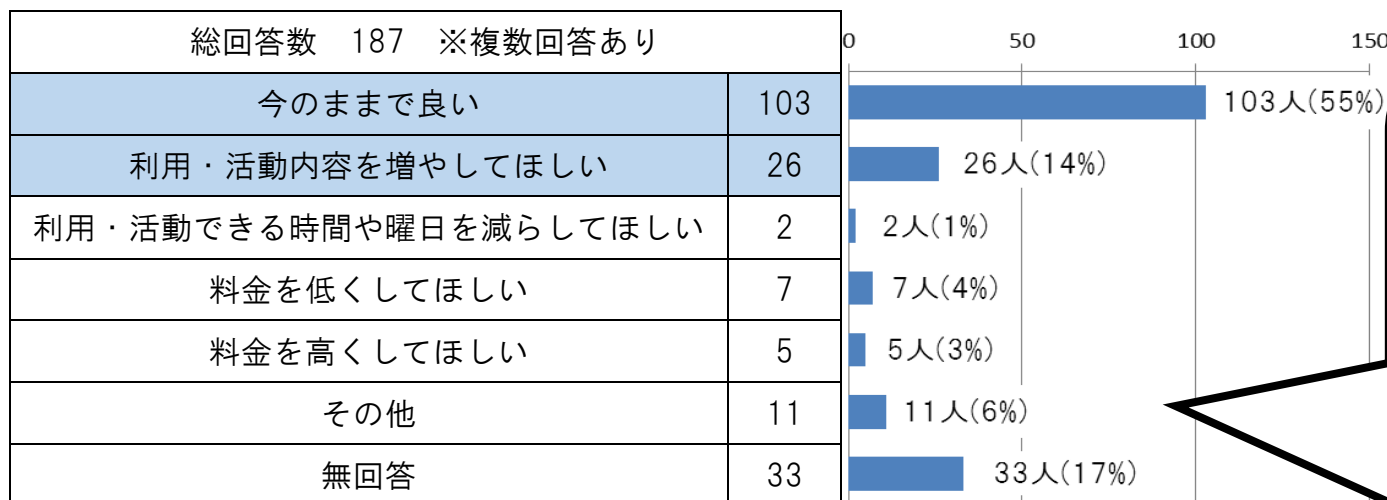
## 【今後の「あいまち」の依頼・活動のペース】



<その他>

- ・マイペースで良い
- ・必要になった時に考える
- ・体調次第
- ・今後も依頼したい
- ・まだ機会がないので答えられない(2名)
- ・まだ活動していないので、依頼があっても良いと思う
- ・他活動・仕事・体調不良や近親者の介護のため休止中(9名)

## 【今後の「あいまち」に期待すること】

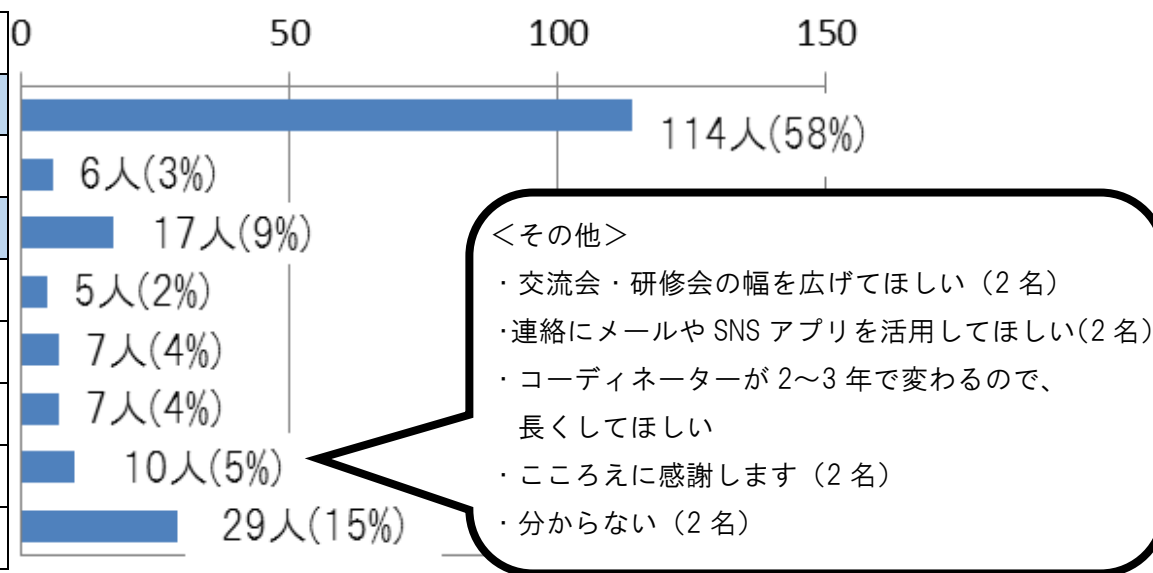


<その他>

- ・この活動が他区の見本となってほしい
- ・エリアを広げてほしい
- ・申込から利用の時間の短縮
- ・急な困りごとに対応
- ・活動時間を手短かにしてほしい
- ・活動時間・曜日・対象者の拡大
- ・料金を低くしてもらいたいが無理だと思う
- ・幅を持たせて高い料金がもらえるスキルアップフォローをしてほしい
- ・分からない(2名)

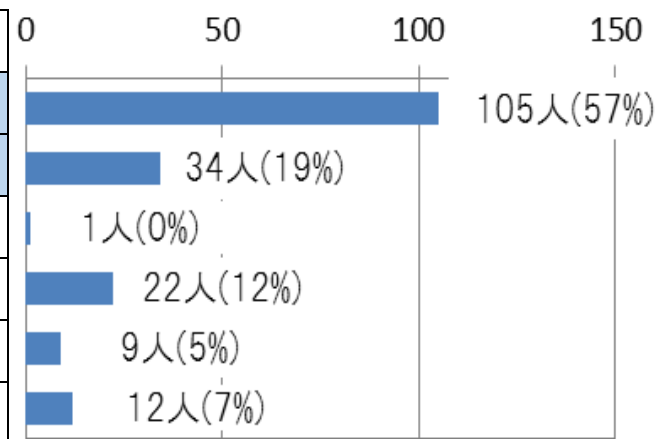
### 【今後のコーディネーターに期待すること】

総回答数 195 ※複数回答あり	
今のままで良い	114
もっと上手にマッチングしてほしい	6
もっと区民へ周知・広報してほしい	17
もっと交流会を開催してほしい	5
もっと研修会をしてほしい	7
連絡や調整を簡単にしてほしい	7
その他	10
無回答	29



### 【今後の「あいまち」の登録継続】

総回答数 183	
今後も続けたい	105
余裕があれば今後も続けたい	34
できれば登録をやめたい	1
今後について検討中	22
わからない	9
無回答	12



## 【ご意見・ご感想】

### ○区社協（コーディネーターに対して）

- ・コーディネーターの役割(活動の動向、マッチング等)が良い(4名)。安心できる。
- ・依頼内容(依頼者の氏名、あいまちNo、時間、活動内容、待ち合わせ場所等)を紙で通知してほしい。
- ・連絡をメールや SNS などを活用してほしい。(2名)
- ・鶴見の誇りとして頑張ってください。
- ・依頼をしていても、体調が悪くなったり、天候が悪かったりした時、急なキャンセルをすることになるのでとても申し訳なく思い、次に依頼することを躊躇してしまう。
- ・ボランティアなので仕方のない所があると思いますが、雨なので行けないと言われ、次回が決められなかったので、その辺りが不便です。

### ○あいまちの活動について

- ・あいまちの活動が役に立っている、ありがたい(10名)、心の支えになっている。
- ・今後も利用したい。(2名)
- ・これから高齢・体調不良になった場合に協力をお願いしたいと思う。(5名)
- ・道すがらに気軽にお声を掛けて下さり、嬉しく思っています。利用させていただき、交流会、会合（勉強会）などでお顔を見ることができ楽しみにしております。
- ・自宅近くにもっと活動があれば良いと思います。
- ・土、日、祝日に活動できると良い。(2名)
- ・介護保険で出来ない事をあいまちボランティアの方に助けていただき感謝しています。
- ・活動者への電話によるアポ取りでかかる時間や手間をできるだけ割愛して利用者からもっと多くの依頼を得てほしいです。利用者数や利用回数を増やして口コミで広げていく以外には認知度は上がらないと考えます。
- ・他区の類似事業は委託事業から自主事業に変わるそうですが、あいまちも同じような経過をたどっていくのでしょうか。そうなった方が、事業の選択の幅が広がって良いと思います。

## ○今後の活動について

- ・今後も活動をつづけたい。(2名)
- ・もっと活動したい。
- ・現在は体調不良のため休止中、できるだけ復帰をしたい。(3名)
- ・交流会にはできるだけ参加したいと思います。
- ・初めての活動の前日は眠れないほどでしたが、今では楽しいです。自身の体調が悪くなったりするので、思うようになりませんが、いつか役に立てたらいいなと思います。

### 【専門アドバイザーからの総括】

平成 29 年度は、本事業の取り組みの講評を甲南女子大学 鈴木大介准教授よりいただくことができましたので一部抜粋してご紹介します。

有償活動である「あいまち」ですが、その特徴は何よりも活動を行うことで一定の活動費がもらえる点です。この点が従来のボランティア活動と異なる点です。しかし、会員になってよかったこととして「様々な人と接することができる」「人に感謝され喜びを感じた」ことをまず挙げておられ、「活動に対して謝礼がもらえる」という点については選択肢のなかでも下位に来ています。このことは、金銭的な満足度より、つながりや人間関係の満足度の方がより実感されていることを示しています。実はこの「つながりや人間関係の満足度」を重要視する傾向は、無償で行われているボランティア活動においても、同様の傾向が見られます。しかし、この「有償性」についてあいまちがより特徴的であるのは、「利用した人」の思いにあります。あいまちを「利用した人」の実に半数以上の方が「謝礼を渡すことで気兼ねなく利用できる」と言っているのです。現在の地域活動においては、「助け上手」になることと同じくらい「助けられ上手」になることが大切だといわれています。困り事を抱えているときに、いかに一人で頑張り過ぎずに、周りに SOS を伝えることができるのか。それができると生活のしんどさは大きく変わってきます。しかし実際には多くの方が SOS を出すことが苦手であったりします。そのような中、あいまちのように「気兼ねなく『助けて』を発信できる」仕組みは、とても貴重な援助の一つといえます。

そこには、この活動運営の責を担うコーディネーターの働きかけが重要になります。コーディネーターの役割としては、制度の円滑な運営および新規活動者・既存活動者の総合的な活動支援も大切な役割として存在しています。ただし、一点気をつけるべき数値があります。それは「『余裕があれば』今後も続けたい」と答えた方の割合が高いという点です。これは活動の継続性に対する不安の表れの一つでもあり、言い換えれば、今後この層が「余裕を持って活動できる」ようなバックアップや支援がコーディネーターには求められるということでもありま

す。それは「今後のコーディネーター」に期待することへの回答の傾向においても、その一端が垣間見られます。

現在のコーディネーターとあいまち登録者の関係は、総じて満足度の高いものとなっています。しかし、アンケートの選択肢に表れていない「声」もふくめて、会員が安心して継続できる専門的な関わり方について、コーディネーターとしてより柔軟な視点で検討する余地があるといえます。

甲南女子大学 鈴木大介准教授

会員みなさま、この度はアンケートにご協力ありがとうございました。

いただいたご意見やアドバイザーからの助言を元に、「まちの支えあい活動『あいまち』」が更に発展し、会員みなさまに「あいまちの会員でよかった」と思っていただけようコーディネーター一同、頑張っています。

今回のアンケート以外でも、お気づきの点やご意見がございましたらお気軽にコーディネーターまでお寄せください。

これからも何卒よろしくお願い申し上げます。